

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名
生活科学部 栄養科学科	講師	大柿 恵子

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) <尚綱大学生生活科学部 栄養科学科>	H28.4月～	「公衆栄養学Ⅰ」 公衆栄養活動、社会環境と健康・栄養問題、食生活、食環境の変化、我が国の栄養政策、諸外国の栄養政策・栄養問題などを身近な問題としてとらえ、情報を収集し分析する力を身に付けさせる。最新の資料を多く配布し、理解しやすく授業を進める。毎回小テストをして知識を定着させる。
	H28.4月～	「栄養指導論実習」 糖尿病交換表や腎臓病交換表を実際に用いてみる。肥満、2型糖尿病、慢性腎臓病の症例検討を栄養ケアプロセス用語マニュアルを用いて行い、栄養診断できる力を身につけさせる。さらに各班で話し合っって集団栄養指導を行う。指導に対するの評価も全員で行うため、プレゼンテーション能力を高めることができる。
	H28.4月～	「臨地実習(公衆栄養)」 保健所、保健センターなどに学生を配当。限られた配当先に学生を割り振り、支障がないか確認。事前指導では地域の課題を発見し、実際の現場でどのように公衆栄養活動が行われているか、理解させる。各配当先から出された課題を指導する。事後指導では、実習で実施したことを整理し、行政栄養士に必要なマネジメント能力の向上につなげる。
	H28.4月～	「卒論」 学生の希望により、研究テーマを決定。先行研究を検討し、内容を決定、結果の分析などの指導を行う。
	H28.9月～	「公衆栄養学Ⅱ」 公衆栄養活プログラムの作成・実施・評価の総合的マネジメントについて必要な知識と理論を理解させる。実例を多く上げ、より深い理解につなげる。
	H28.9月～	「公衆栄養学実習」 公衆栄養活動のプログラムの実際での進め方を身に付けさせる。実際使用するような資料を配布し、現場ですぐ実践できるように授業を進める。数回発表も行い、コミュニケーション能力の向上にも努める。
	H28.9月～	「栄養教育学実習」 アセスメント、計画作成、調理実習、個人カウンセリング、集団指導などを班でローテーションしながら実習を行う。他のグループを評価し、自己評価も併せて行うことでより深い理解につながる。
<尚綱短期大学部食物栄養学科>	H28.4月～	「公衆栄養学概論」 QOLを高めることを目標に公衆栄養活動を行うことを実際の地域の情報や健康問題を通して理解させる。わかりやすいように最新の図やグラフなどを使用する。毎回小テストをして知識を定着させる。

(2)作成した教科書・教材・参考書 なし		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし		
(4)その他教育活動上特記すべき事項	H28年7月	熊本県栄養士会研究教育事業部研修会にて 「管理栄養士・栄養士の仕事を知らう」で講演

## II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著 の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻、号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
なし					
(論文)					
なし					
(その他)					
なし					

## III 学会等及び社会における主な活動

H28～	日本栄養改善学会会員
	日本栄養士会会員
	熊本県栄養士会会員